

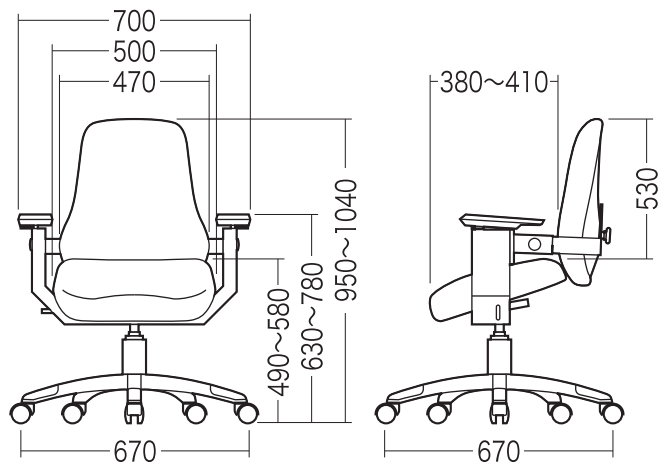
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
このチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

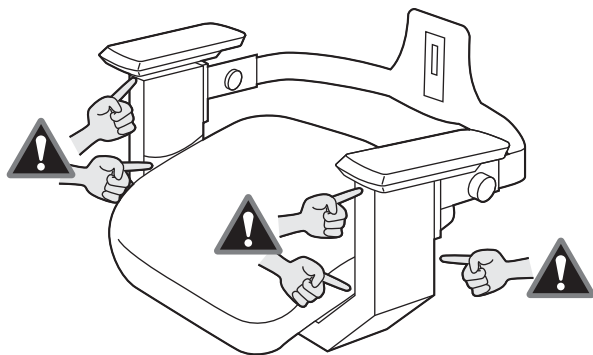
## 完成図



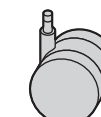
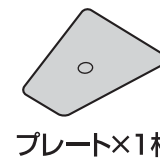
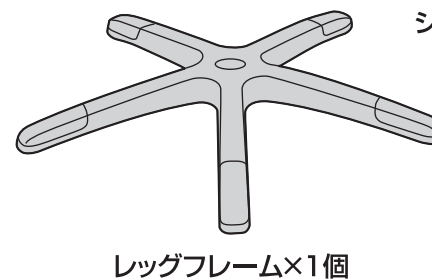
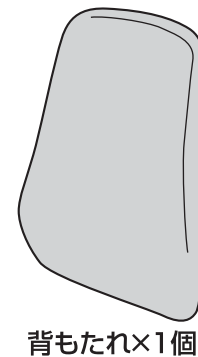
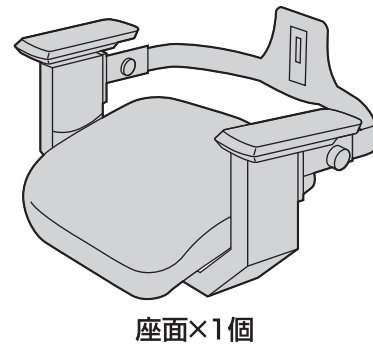
## 警告

下記の内容を無視して誤った使い方をすると、重傷を負う可能性があります。

座面の可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。



## 組立て部品



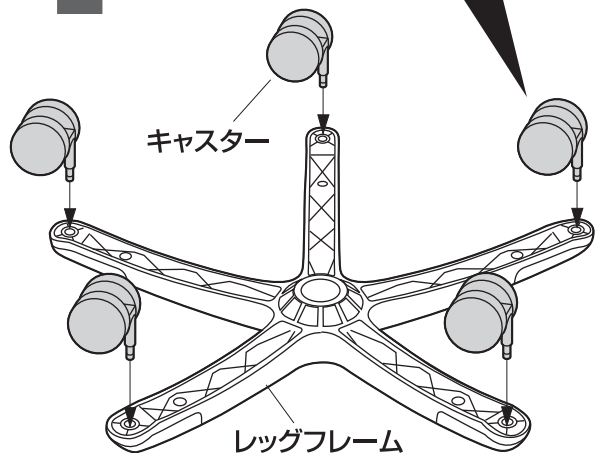
1

レッグフレームをひっくり返し、  
キャスターを取付けます。

下

▲ 注意 ▲

それぞれのキャスターは全て圧入式です。(手ではめこむ)  
奥まできちんと差し込んでください。



2

レッグフレームにガスシリンダーと  
シリンダーカバーを取付けます。

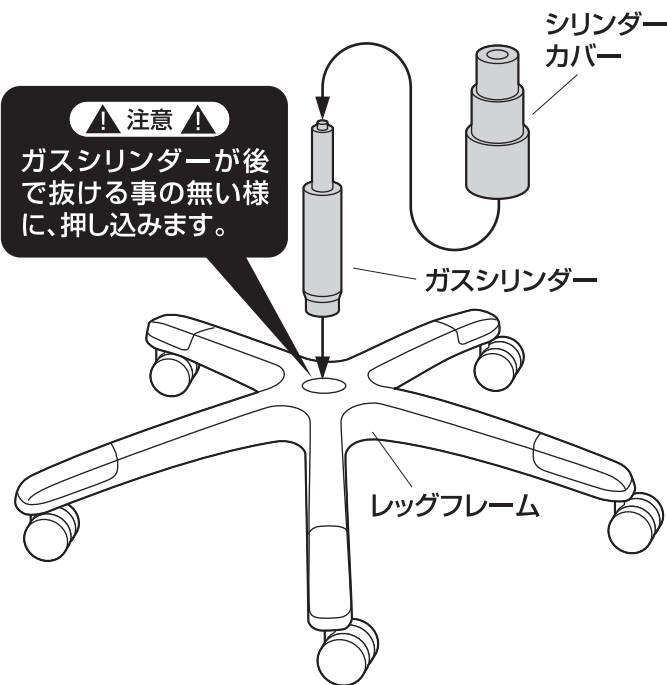
シリンダー  
カバー

▲ 注意 ▲

ガスシリンダーが後で抜ける事の無い様に、押し込みます。

ガスシリンダー

レッグフレーム



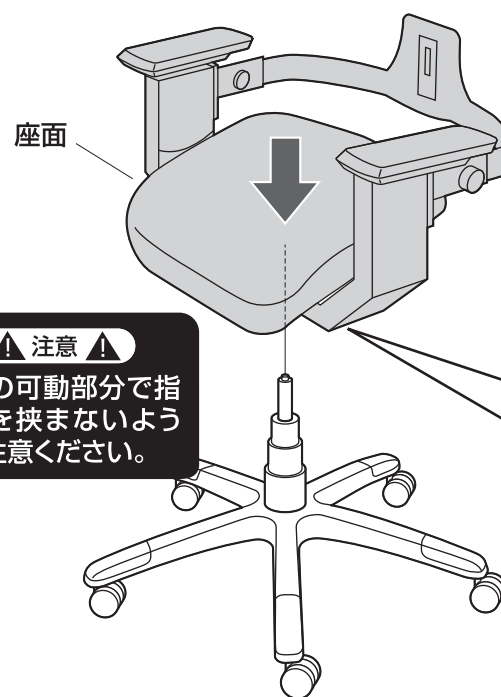
3

ガスシリンダーに座面を差し込みます。

座面

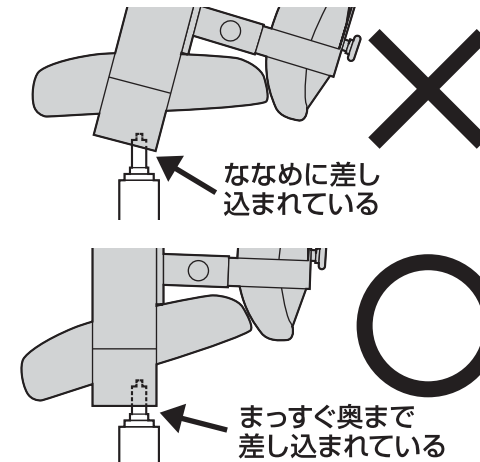
▲ 注意 ▲

座面の可動部分で指などを挟まないようにご注意ください。



▲ 注意 ▲

座面をガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。  
座面がななめに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。

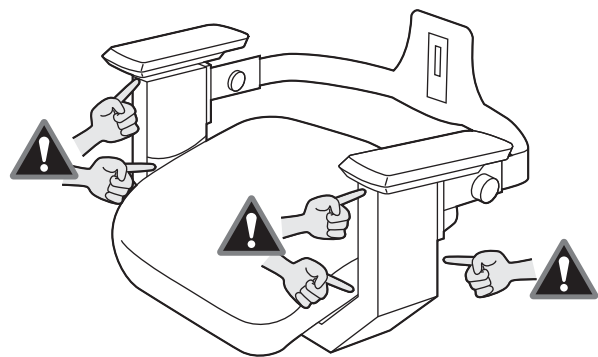


4

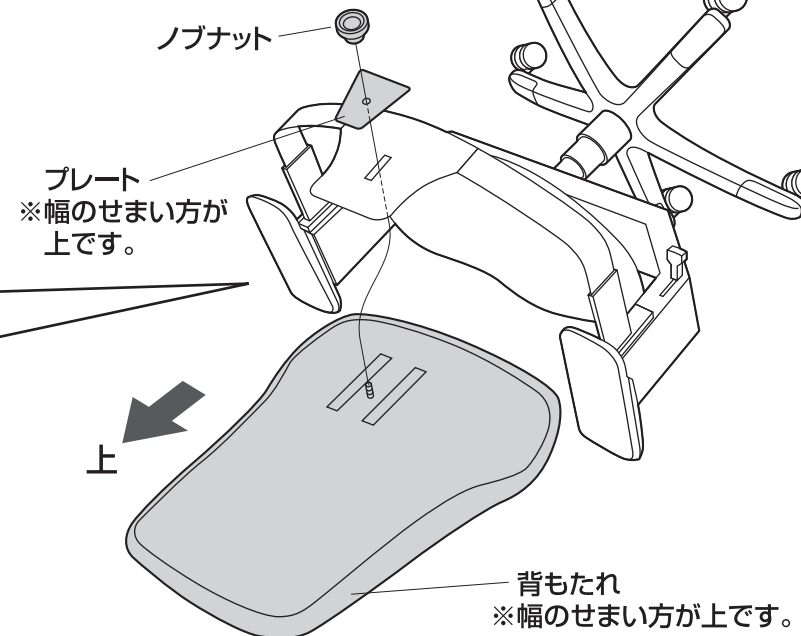
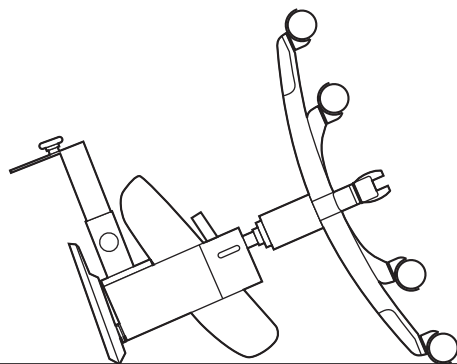
チェアを倒し、座面に背もたれを取付けます。

⚠ 注意 ⚠

座面の可動部分で指などを挟まないようご注意ください。



※下図の向きに倒して作業します。

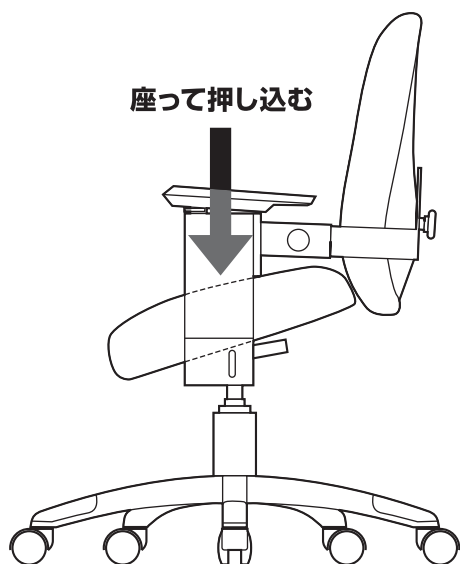


5

チェアを起こし、座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んで完成です。

最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。



- ※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
- ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
- ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
- ※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

### チェアの品質表示

外形寸法：幅700×奥行670×高さ950～1040mm (座面高さ490～580mm)  
 構造部材：座部・背もたれ部/合板 脚部/ナイロン キャスター部/ナイロン  
 張り材：ポリエステル クッション材：ウレタンフォーム

### ⚠ 使用上の注意 ⚠

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
  - 滑りやすい床面で使用しないでください。
  - 用途以外で使用しないでください。
  - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
  - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
  - 座面や肘あての上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
  - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
  - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
  - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
  - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

# 調節の手順

※通常のチェアとは構造が違うため、人によっては慣れるまでの間、ぎこちなさを感じる場合があります。

※下記の説明は標準的な調整の手順です。使用環境、お好みに合わせて調節して、ご使用ください。

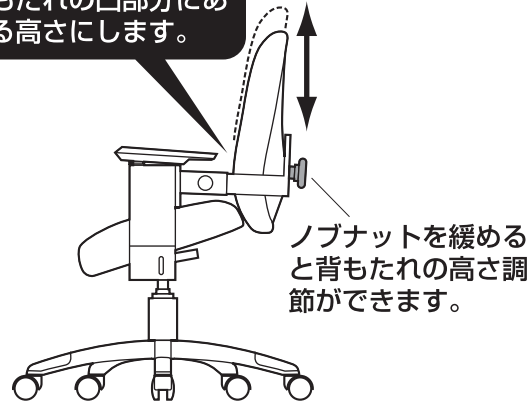
## 1 座面の高さを調節します。

レバーを引き上げると座面の高さ調節ができます。



## 2 背もたれの高さを調節します。

腰のくぼみがちょうど背もたれの凸部分にあたる高さにします。

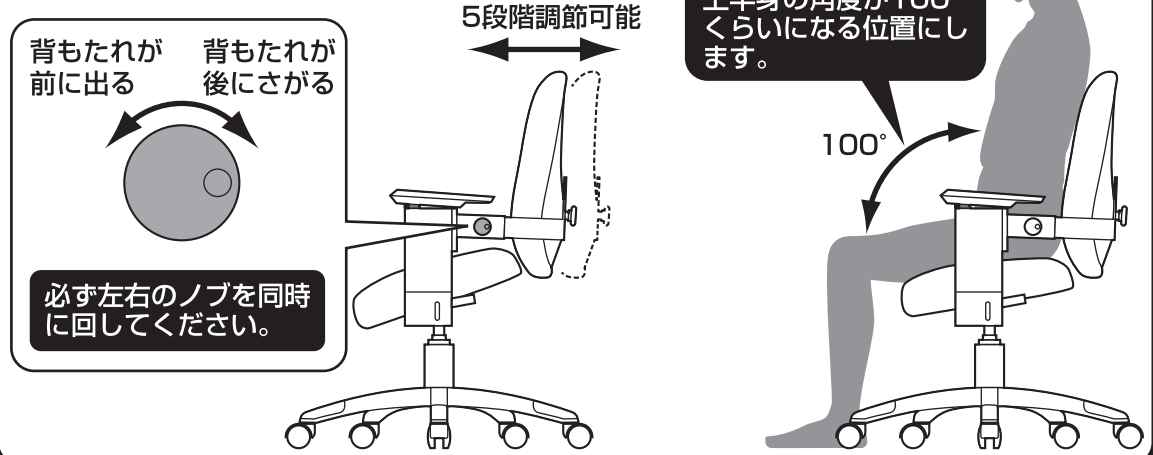


## 3 背もたれの奥行きを調節します。

左右のノブを回すと背もたれの奥行きが5段階で調節できます。

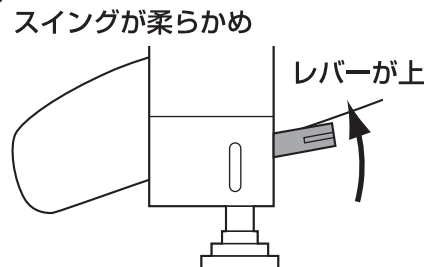
背もたれが前に出る  
背もたれが後にさがる

必ず左右のノブを同時に回してください。

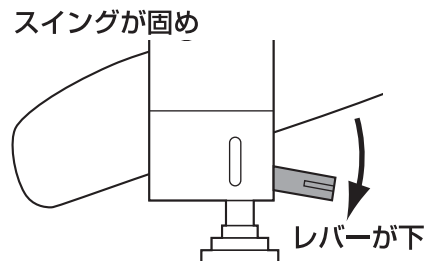


## 4 ロッキングの固さを調節します。

背もたれスイング  
固さ調節可能



必ず左右のレバーを同時に上げて  
ください。

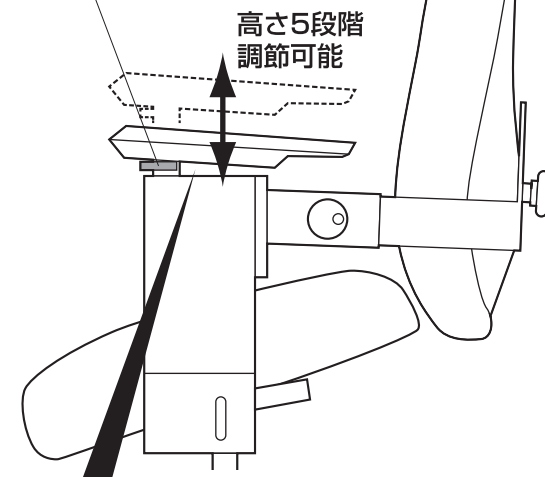


必ず左右のレバーを同時に下げて  
ください。

左右のレバーを上げ下げすると  
背もたれのスイングの固さ調節  
ができます。

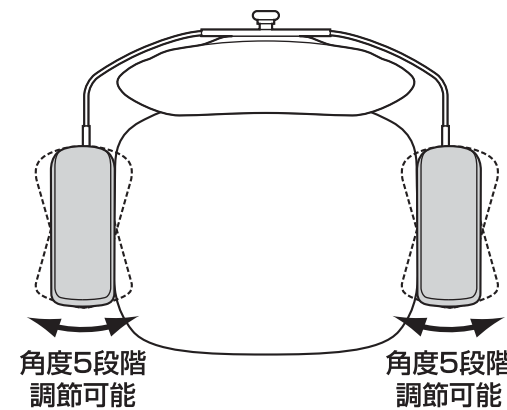
## 5 肘あての高さ、角度を調節して完了です。

レバーを上げると  
肘あての高さ調節が  
できます。



キーボードを使用する場合は  
肘あてを机と同じ高さにします。

上から見た図



使用例

